

目次

アップデート情報について	1
取扱説明書追加情報	1
レイテンシーについて	1
既知の不具合	1
新機能	2

アップデート情報について

本製品のドライバソフトウェアおよび本体のファームウェアは、常に最新版をお使いいただきますようお願いいたします。最新のソフトウェアとファームウェアに関しては、タスカムウェブサイト：<http://www.tascam.jp>にてご確認ください。

取扱説明書追加情報

レイテンシーについて

Windows パソコン上のレイテンシーは、サンプルレートに関係なく一定になります。

既知の不具合

Mac OS X

V1.00での不具合

- Digital Performerでは、FireOneの入出力ポート表示が以下ようになります。

DP上の表示	FireOneの表示
Audio IN 1	A
Audio IN 2	B
Audio OUT L1	L
Audio OUT R2	R

- Cubaseでは、FireOneの入出力ポート表示が以下ようになります。

DP上の表示	FireOneの表示
Audio IN 1	A
Audio IN 2	B
Audio OUT Left	L
Audio OUT Right	R

Windows

V1.00での不具合

- Version 1.00はMicrosoft Windows Vistaに対応していません。
- コントロールパネルのオーディオバッファサイズの変更は、MIDIのレイテンシーにも影響します。
- オーディオアプリケーションを使用している時は、Windowsのタスクマネージャーを起動させないでください。タスクマネージャーの処理が大きいためオーディオ転送に影響を及ぼします。
- Windowsのオーディオミキサーをミュートすると、FireOneのオーディオ入力もミュートされます。
- DAWでMIDIシステムエクスクルーシブファイルをFireOne経由で再生すると、DAWの動作が遅くなります。
- Giga Studio 3.xxで"GSIF-Low Latency"のMIDIポートは動作しません。FireOne MIDIを使用してください。
- FireOneのVersion 1.00では、WDM/KSドライバーモードをサポートしていません。SONARでFireOneを使用するときは、WDM/KSのかわりにASIOを使用してください。ASIO,GSIF,MMEには対応しています。
- サンプリングレートを変更した後は、WDM/MMEアプリケーションを一度終了して再起動してください。

その他

- Cubase LE 1.x.xのコントロール機能は、サポートしていません。

新機能

Windows Driver

V1.10での修正

Windows Vista 32 bit 版に対応しました。